

Nature Positive Forum 九州 #1 KARATSU

ネイチャー
ポジティブ
フォーラム
カラツ

自然資本とビジネスの関係について
セクター横断で問い考え、アクションにつなげる

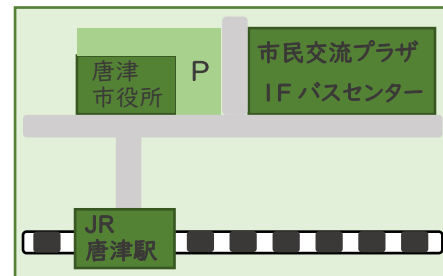
日時 令和7年 3月28日(金) 9:40~17:00
前日開催 フィールドワーク 3月27日(木) 14:00~17:00

場所 唐津市民交流プラザ 3階 多目的ホール/会議室
(佐賀県唐津市南城内1-1)

参加料 無料

定員120名

(前日開催のフィールドワークはお一人5,000円)



主催 ネイチャーポジティブフォーラム九州 in 唐津実行委員会
(唐津市、一般社団法人 GBP ラボラトリーズ、HanaMarcheConnect、
一般社団法人ふくおか FUN、NPO 法人 WeD)

共催 東北大学ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点、九州大学うみつなぎ

後援 環境省九州地方環境事務所、EPO九州、佐賀県、(公財)日本自然保護協会、
(株)佐賀銀行、九州大学、一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター

協賛 自然電力株式会社、株式会社建設技術研究所、
日本生命保険相互会社、株式会社唐津パワーホールディングス、
アマタホールディングス株式会社、日本建設技術株式会社、株式会社ぴーぷる、
ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社、株式会社 AMRITARA
九州製鋼株式会社、ウォータースタンド株式会社

Nature Positive Forum 九州 #1 KARATSU

多目的ホール（メイン会場）

9:40 開会挨拶

唐津市長挨拶（唐津市ネイチャーポジティブ宣言）

環境省地域循環共生圏推進室 室長 石川 拓哉 氏

10:05 識者講演① 近藤 倫生 氏

東北大学大学院

生命科学研究科教授

～環境 DNA で人間活動と

自然の関わりを可視化する～



識者講演② 藤木庄五郎 氏

株式会社バイオーム

代表取締役CEO

～全世界の生物データで

生物多様性のグーグルへ～



11:30 出展者ライトニングトーク 10団体程度

～ 昼食休憩 ～

13:10 トークセッションA【中間支援組織】

・一般社団法人フィッシャーマンジャパン 川鍋 一樹氏

・一般社団法人サステナビリティセンター 代表理事 太齋 彰浩氏

・一般社団法人MIT 代表理事 吉野 元氏

14:05 トークセッションB【民間企業】

・日本生命保険相互会社 サステナビリティ経営推進部長 岩本 昌弘氏

・アイフォレスト株式会社 代表取締役CEO 丸山 孝明氏

・自然電力株式会社 コーポレートソリューションズ部長 武山 真紀氏

15:20 トークセッションC【大学・教育機関】

・九州大学大学院工学研究院准教授 清野 聡子氏

・一般社団法人 Think the Earth 理事 上田 壮一氏

・早稲田佐賀高等学校 教諭 平野 佐矢子氏

16:15 クロージングセッション

16:50 閉会挨拶

17:30 懇親会（お一人料金：5,000円） 参加は任意です。

会議室1・2（サブ会場）

10:00～17:30

NPO 法人、企業、高校など、活動実践者のパネル・ポスター展示を実施します。

活動実践者と来場者の情報交換、交流を自由に行うことができます。

参加申込フォーム



参加申込

【期限】 令和7年3月 7日(金) 一次締切

令和7年3月14日(金) 二次締切

一次で定員に達した場合はお断りをする
場合がありますのでご了承ください。

DAY1

3/27 フィールドワーク

唐津の海の一部に触れるフィールドワーク

Nature Positive Forum 九州
#1 KARATSU 2025-0328

今、海で起きている問題 ～深刻な磯焼け～

近年、日本を含む世界各地の沿岸で「磯焼け（いそやけ）」が深刻な問題となっています。これは、海藻や海草が大規模に減少し、海の生態系に影響を与える現象です。その中でも、ウニ（雲丹）が関係する磯焼けは特に注目されています。磯焼けは、日本を含む世界の海で深刻化している環境問題であり、特にウニの異常繁殖が原因となるケースが多いです。海の生態系や漁業への影響が大きいため、ウニの管理や藻場の再生が求められています。それは唐津の海でも例外ではありません。

ウニと磯焼けの関係

ウニ（ガンガゼウニ）は海藻を食べるため、大量発生すると藻場が壊滅状態になります。しかし、このウニは痩せており、商品価値が低いため漁業者にとっても厄介な存在です。市場価値が低いことから、漁師も獲らないため、さらに増殖する悪循環が生まれています。

対策としては、①ウニ駆除（数を減らして磯焼けを防ぐ）②ウニの肥育（陸上養殖で太らせて市場価値を高める）③藻場の再生（海藻の植え付けや栄養塩管理）のようなことがうたわれていますが、そんな簡単なことではありません。

唐津の海の一部に触れるフィールドワーク

Nature Positive Forum 九州
#1 KARATSU 2025-0328

フィールドワーク About KESAMARU

袈裟丸マリン合同会社の代表、袈裟丸彰蔵さんは海士として毎日海に潜る中で、海水温の上昇によって外来種が異常繁殖し生態系が崩れて岩礁の海藻が消失する「磯焼け」が広がっていることに危機感をもち、2000年ごろから藻場の保全活動を行っており、磯焼けの原因となっているウニの一種ガンガゼなどの食害生物の駆除や、藻場の手入れを通して海を守っています。20年以上の活動で、今まで繁茂していなかったエリアに海藻が繁茂するなど確かな効果が表れています。再生した藻場でとれた天然ウニは、にっぼんの宝物JAPAN大会2023-2024にて最優秀賞となるグランドグランプリを獲得し、確かな品質が評価されました。藻場再生への挑戦は日本のみならずアジア全域からも注目されています。



<https://www.pref.saga.lg.jp/chiji/kiji/003106853/index.html>



<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/3ef753a077227cf605bea7963ad71f05a4032f09>



漁業と養殖業に関する国際的な専門誌「World Fishing & Aquaculture」にも取り上げられた

唐津の海の一部に触れるフィールドワーク

Nature Positive Forum 九州
#1 KARATSU 2025-0328

時間	内容
14:00	唐津市役所集合
14:10~14:40	移動
14:40~14:50	袈裟丸水産到着
15:00~15:15	袈裟丸さん講義～昔と今、これからの海について～
15:15~16:15	ワークショップ
	ウニ潰し体験・アマモの種苗製作
16:15~16:20	バスへ移動
16:20~17:00	市役所到着（解散）

※フィールドワークは一部変更となる可能性がございます

<協賛企業>



WATER STAND

<共催>



<後援>

